

1 この科目の構成について

教 科	商 業	科 目	簿 記	単 位	2単位
対象コース	情報ビジネスコース	対象クラス	1年6組・1年7組		
使用教科書	●新簿記（実教出版）				
使用副教材	(1)配付プリント (2)反復式 学習と検定 簿記問題集 全商3級 (3)日商簿記問題集				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学 習 目 標	—この科目を学習して何を身に付けてほしいのか—
	企業において日常発生する取引を仕訳し、勘定記入を経て、決算に至る簿記の基本的な仕組みについて理解する。 帳簿や財務諸表を通して、ビジネスの諸活動を計数的に把握する能力と態度を育てる。
学 習 内 容	—この科目で学習する大まかな内容—
	(1) 講義中心になりますが、毎時間問題演習をすることで、理解を深めていきます。 (2) 全国商業高等学校協会主催 簿記検定3級取得・日本商工会議所主催 簿記検定3級を目指した学習をして行きます。
学 習 方 法	—この科目を学校と家庭でどのように学習すればいいのか—
	(1) 学校 帳簿記入などの実技は、教師の説明・指示を良く理解し、授業に集中して取り組む必要がある。 授業中は、教師の説明を聞き逃さないよう集中し、良く理解すること。私語は大迷惑。 (2) 家庭 全国商業高等学校協会主催 簿記検定3級 検定試験・考查の範囲については、家庭での予習・復習が必要である

3 この科目の評価方法について

評 価 方 法	—何をを使って評価するのか—
	(1)定期考査→第1・2・3・4・5回考査に行います。 (2)授業中での課題作成→授業中に課題を提示します。
評価における定期考査の割合	
60%	

4 この科目の評価の観点について

評 価 の 観 点	—この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか—
	(1) 関心・意欲・態度 ・問題演習に積極的に取り組んでいるか ・重要なポイントについてはきちんと自分なりにメモしているか ・授業で解いた問題以外にも自発的に取り組んでいるか ・居眠り、忘れ物、授業に不要なものの持ち込み（減点項目） (2) 思考・判断 ・状況に応じた処理ができるか (3) 技能・表現 ・適切な処理に基づいた集計、作表ができるか (4) 知識・理解 ・適切な処理に基づいた集計、作表ができるか

年間学習計画		—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—		重視する評価の観点				
期	月	学 習 の 項 目	学 習 の 内 容	関	思	技	知	
1	4	ガイダンス	○資産・負債・資本のそれぞれの意味と種類を理解する。 ○貸借対照表の概要を理解し、貸借対照表の作成法を習得する。 ○取引によって資産・負債・資本の増減から、期首と期末の財政状態に変化が生じ、その差額が純損益であることを理解する。 ○収益・費用のそれぞれの意味と種類を理解する。 ○損益取引によって生じる収益総額から費用総額の差額が純損益であることを理解する。 ○損益計算書の概要を理解し、その作成法を習得する。	●	●	●	●	
		第1編 簿記の基本 第1章 企業の簿記 第2章 資産・負債・資本 第3章 収益・費用						
	5	第4章 取引と勘定 第5章 仕訳と勘定への記入	○簿記上の取引の意味を理解する。 ○勘定・勘定科目・勘定口座の意味、勘定の種類を知る。 ○勘定記入法について理解する。 ○取引の結合関係を理解する。 ○仕訳の意味、仕訳の仕方を十分理解する。 ○第1回定期考査	●		●	●	
		第2編 簿記の基本 第1章 現金・預金の記帳 第2章 商品売買の記帳	○現金・当座預金・その他の預貯金の意味を理解し、その記帳方法を習得する。 ○小口現金の意味を理解し、その記帳方法を習得する。 ○3分法による商品売買の記帳法を理解する。 ○3分法による商品売買損益の計算法と記帳法を理解する。 ○仕入帳・売上帳の役割を理解し、記帳方法を習得する。 ○商品有高帳の役割を理解し、先入先出法と移動平均法による記帳方法を習得する。 ○商品有高帳と仕入帳と売上帳の関係についても理解する。	●	●	●	●	
	2	7	第3章 掛け取引の記帳	○売掛金元帳と買掛金元帳の必要性と記帳法を理解する。 ○売掛金元帳・買掛金元帳と売掛金勘定・買掛金勘定との関連を理解する。 ○貸し倒れの意味と、その記帳処理を理解する ○第2回定期考査	●	●	●	●
			第4章 手形取引の記帳	○約束手形と為替手形の違いを理解し、これらの手形の授受に伴う記帳法をよく習得する。	●	●		
9		第4章 手形取引の記帳 第5章 その他の債権・債務の記帳	○手形の裏書と割引の基本的な記帳法を習得する。 ○受取手形記入帳と支払手形記入帳の役割と記帳法を理解する。 ○貸付金と借入金、前払金と前受金、未収金と未払金の各勘定の性質と内容を理解し、記帳法を習得する。 ○上記と同様に、立替金と預り金、仮払金と仮受金、商品券についても各勘定の性質と内容を理解し、記帳法を習得する。 ○第3回定期考査	●	●	●	●	
		第6章 有価証券の記帳 第7章 固定資産の記帳 第8章 営業費の記帳	○簿記上の有価証券の意味を、特に売買目的有価証券について理解し、その売買に伴う記帳法を習得する。 ○営業費の内容と記帳法を理解する。 ○営業費内訳帳についても理解する。	●	●		●	
11		第9章 個人企業の資本の記帳 第10章 個人企業の税金の記帳 第3編 簿記の基本 第1章 帳簿 第2章 3伝票制による記帳	○資本金の増減に関する記帳法と引出金の内容を理解し、資本金と関連して記帳法を習得する。 ○個人企業の税金について、種類と意味を理解し、その記帳法を習得する。 ○帳簿の種類と、帳簿組織およびそれらと分課制度との関係、帳簿組織の立案について理解する。 ○帳簿の形式として、手作業による会計処理で使う帳簿とコンピュータによる電子帳簿について知る。 ○伝票のはたらきとその種類を理解する。 ○仕訳伝票による取引の記帳法を理解する。 ○3伝票制による取引の記帳法および集計と転記について理解する。 ○第4回定期考査	●	●	●	●	

年間学習計画				—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—				重視する評価の観点			
期	月	学 習 の 項 目	学 習 の 内 容	関	思	技	知	関	思	技	知
3	12	第4編 決算 第1章 決算整理(その1) 第2章 決算報告 第3章 決算整理(その2)	○貸し倒れの見積もり, 減価償却, 有価証券の評価および費用・収益の繰り延べと見越しの意味とその処理を含めた進んだ段階の記帳法を理解する。 ○進んだ段階の処理を含めた8桁精算表により決算のしくみを確実に把握し, 損益計算書と貸借対照表の作成を習得する。	●	●	●	●				
	1	まとめ	○全国商業高等学校協会主催簿記実務検定3級受験		●	●	●				
	2	決算の実際	○第5回定期考査								
	3	次年度への準備	○次年度、全商検定2級取得のために1年間学習した内容を復習する。	●	●	●	●				